

令和元年度 室蘭港長期構想策定業務委託 特記仕様書

1. 業務目的

現行の室蘭港港湾計画は、平成6年11月に、目標年次を平成17年として改訂を行ったところであるが、目標年次から10年以上を経過し、現行計画と実際の利用状況に乖離が大きく見られている。そこで、本業務では、室蘭港の次期港湾計画改訂に向けて、室蘭港における20～30年の長期的視点から空間利用の基本的方向を示す長期構想を検討するための委員会を開催・運営し、その資料作成等を行うことを目的とする。

2. 業務内容

2-1 準備

事業実施にあたり、業務の目的及び内容を把握するとともに、業務実施方針やスケジュール等を整理し、業務計画書として取りまとめる。

2-2 計画の検討

室蘭港を取り巻く社会経済情勢・現況・課題に基づき、20～30年後の長期的な視点から、室蘭港の目指す姿等を検討する。

(1) 現況の把握、課題の整理

室蘭港の現況や室蘭港を取り巻く社会経済情勢を把握し、課題を整理する。

(2) 室蘭港への要請等の整理

室蘭港利用者の直接的な要請や、非利用者における潜在的な利用可能性のある要請を把握する。

(3) 室蘭港の目指す姿の検討

室蘭港の現況、課題、要請等から室蘭港の目指す姿の検討を行う。

(4) 室蘭港の目指す姿への展開施策検討

室蘭港の目指す姿を実現するための施策について検討する。

2-3 資料の作成

委員会等の資料作成

第1回、第2回検討委員会等に用いる資料を作成する。

- ・第1回検討委員会（合同委員会）
- ・第2回検討委員会（幹事会、委員会）

2-4 委員会等の運営

学識経験者、地元関係者、港湾関係者等で構成される「室蘭港長期構想検討委員会」「同幹事会」を設置（委員・幹事の委嘱を含む）して、室蘭港の20～30年後の港湾の開発、利用、保全の基本的な方向を検討する。また、検討委員会における全体の運営計画及び各委員会における討議の範囲を検討する。

2-5 結果の整理

上記の検討委員会等の長期構想に関する議論や検討内容等を整理し、次回の検討委

員会や港湾計画改訂に向けた資料作成に反映させるための資料を作成する。

3 . 業務報告書

業務内容を取りまとめ、報告書を作成する。報告書は、印刷物及び電子データで提出する。なお、印刷物による報告書は製本 2 部電子データ 1 部（CD または DVD）とし、報告書の体裁はパイプ式等のファイルとする。電子データの形式は、ワード、エクセル、及び PDF、図面は DWG、DXF、及び PDF とする。

4 . 打合せ協議

打合せ協議は、業務着手時、中間報告、最終報告の計 3 回とする。また、業務遂行にあたり、必要性が生じた場合には適宜協議を実施する。

業務に係る打合せ等については、打合せ簿を作成し提出すること。

5 . その他

その他不明な点等ある場合は業務担当員と協議すること。なお、本業務を遂行するために必要な情報等は、発注者より貸与されるものとする。なお、業務を通じて知り得た企業等に関する情報については、第三者に漏らすことや、別の業務に使用してはならない。